

ぐりーんず greens

第30号

2021.11 発行

理念：地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

基本方針

- ・ 本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・ 患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・ つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- ・ 患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・ 中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



病院長ご挨拶



まずは、八千代医療センターの運営について、日頃からひとかたならぬ御支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和はいままでわれわれが経験したことがない COVID 19 という病禍に対応しなければならないことから始まりました。この病禍は、医療だけではなく、経済、社会面や精神面でも、さまざまな大打撃を世界中の人々に与えました。これによって、社会構造や生活様式の変革だけでなく、医療供給体制にも大変革を余儀なくされました。この大変革も皆初めての経験で、暗中模索、手探り状態で、しかも人命にかかわることなので大至急進めていくしかありませんでした。そのために大変な労力を要し、様々な現実との乖離が生じたため、社会的な大混乱をも引き起こして

しまいました。

当センターも瀬戸先生を中心にコロナ対策teamを作り、千葉県庁と連絡を密にしながら、一般病床だけでなく、当院の特徴でもある小児や産科病床にもコロナ専用の病床を確保し、運営してまいりました。しかも、一般診療とのバランスを取りながらなので、大きな混乱を生じました。さらにこれらの対応に対する情報発信が円滑にいかず、病院内外の皆様方には多大なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

幸いなことにワクチンの接種も比較的順調に進み、最近、ようやく新規感染者数も激減し、収束の兆しが見えてまいりました。熊谷知事も全国に先駆けて飲食店の時短要請全面解除に向けて、新たなる一歩を踏み出すことを明言されてました。まだまだ、完全に終息したわけではありませんので、予断を許さない状態ではありますが、前方に微かな希望の明かりが見えてきたことには間違いのないと思われ

ます。皆様方には、この大混乱の中でまだまだ御迷惑をお掛けすると思いますが、この辺の混沌とした事情を御推察いただき、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝を心より祈念いたします。

令和3年11月
東京女子医科大学附属八千代医療センター
病院長 新井田 達雄

副院長就任のご挨拶

副院長 小川 正樹



この度、新井田病院長のご推薦を頂きまして、10月1日付けで、副院長を拝命致しました。

診療部門を担当させて頂きましますので、皆様はこの場をお借りして一言ご挨拶申し述べさせて頂きまします。

私は、当院の正岡特任教授の後任として、本年2月より勤務させて頂いております。副院長という重責を拝命し、身の引き締まる思いでおります。皆様のお力を拝借して精一杯努力させて頂きましますので、よろしくご指導下さいますようお願い申し上げます。

私の専門は産婦人科でございまして、現在は母体胎児科婦人科の科長で診療の一部を担わせて頂いております。産婦人科の中でも周産期を専門としておりますので、当院の総合周産期母子医療センターの発展に尽くす所存でもございます。産科関係の患者様について皆様との医療連携がスムーズに行われるよう引き続き努めて参ります。

一方、昨今の医療事情では、「医師の働き方改革」、「新型コロナ感染対策」、また「新型コロナ感染症合併妊娠の自宅出産」など、難題が山積みでございます。この難局を地域の皆様方および病院スタッフとともに乗り切りたいと思っております。皆様方には、本件につきまして、様々なアイデアがあるものと思います。より良い発展に資するためにも、皆様からのお知恵を拝借して進めてまいりますので、よろしくご指導頂ければと存じます。

東京女子医大八千代医療センターでは、従前の難題を解決すべく、組織全体で取り組んでおります。この改革を通じて、一部では痛みを伴うこともあるかとは存じますが、八千代市含めた東葛南部、千葉県全体の医療の益々の発展のためには必要なことと思っております。皆様からの格別なるご支援を頂けますと幸甚に存じます。

最後になりますが、今冬は厳しい寒さが予想されております。皆様方のご健康をご祈念申し上げます。就任の挨拶とさせて頂きまします。よろしくようお願い申し上げます。

八千代医療センター感染対策室より

感染管理認定看護師 加藤 恵理子
村上 しほみ

2021年未知のウイルス「COVID-19」が流行してから、1年以上が経過いたしました。

8月の第5波という感染流行状況の影響の大きさは、当院においても想像を超えるものとなりました。

9月に入り徐々に感染者数は減少し、最近では新規感染者数も20名以下となるなど、ワクチン接種の効果や日々の感染対策の成果であるように思います。

「感染対策」という言葉は、いまでこそ医療従事者以外のみなさまにも馴染みのある言葉となりましたが、「感染対策」は、

来院されたすべての皆様に、
体温測定をさせて頂いて
おります。



恐れ入りますが、ご理解とご協力のほど
よろしくお願い致します。 病院長

コロナウイルス流行以前より、医療の現場はもちろん、誰にとっても重要な対策でありました。しかし、「感染対策」がこれほどまでに医療現場以外で浸透し、メディアで連日のように語られることはありませんでした。なぜでしょうか？

それは、病気の正体となる「ウイルス」や「細菌」は目には見えず、たとえ自分にうつったとしても多くは命の危険がなかったからではないでしょうか。ところが、未知のウイルスである「COVID-19」の出現により、薬もなく明確な対策もわからない中で、命を守る為に必死に考えられる対策を実施する状況となりました。

このような状況の中で、誰もが「感染対策」ということを認識し、マスクの装着や手洗い、人との距離（ソーシャルディスタンス）を意識するようになったのだと感じます。

当院においても、これまで実施してきた感染対策に加えて、マスクやゴーグルの常時着用や、面会の制限、来院者の発熱チェック、待合室や動線の分離、環境消毒などを実施しています。

医療現場には何らかの疾病をかかえている方がいらっしゃいますので、感染対策は重要です。

しかし、疾病をかかえている方だけではなく、疾病をかかえていない方を守る為にも「すべての人々」が日頃から感染対策を実施することが非常に重要です。

「ウイルス」や「細菌」は目には見えません。「COVID-19」のようにある日突然、強力なウイルスや細菌の出現は、私たちの生活を脅かします。目には見えないものの正体をつかむまでには時間がかかります。その間に何も対策をとらなければ、どんどん「ウイルス」や「細菌」に則られてしまいかねません。

だからこそ、平時からある程度の感染対策を実施しておくことは、私たちの生活を守る為にもとても重要なことなのです。

当院でも、病院内の感染対策に関することは「感染対策室」を中心に発信しております。

感染対策室では、「COVID-19」対応だけでなく、あらゆる感染症発生時の対応や入院患者さんだけでなく、院内に立ち入る全ての方々が感染症から守られるように活動しております。

COVID-19では、感染対策を見直すとともに、改めて手洗いの大切さを痛感する機会となりました。当院でも、毎年、全職員を対象に手洗いに関する取り組みを行っております。



ご面会の方へのお願い

面会制限について

入院患者さんの感染防止のため

原則禁止とします

以下の方は、来院時に体温を測定し、マスク装着と手指衛生を実施していただき、面会を許可いたします
体温 37.0 度以上の方はお断りさせていただきます。

病院から連絡を受けた方

※人数は原則 1 人までとさせていただきます

来院時の検温で 37 度以上であった場合は、代わりの方と交替していただく必要があります。そのため来院前に**ご自宅でも検温を行ってから来院していただくよう**お願い申し上げます

※現在、マスク不足のため職員においてもマスクの使用制限をしている状況です。ご面会の方にマスクをお渡しすることは出来ません

ご理解とご協力をよろしくお願いたします
病院長



研修風景



衛生的な手洗い手順

(医療現場において感染の予防策として行う手洗い)



<ブラックライトによる手洗いチェック>

蛍光塗料を汚れと見立て、ブラックライトを使用し、手洗いがきちんとできているか（洗い残しがないか）を確認しています。

きちんと洗えていれば、蛍光材料は光りません。写真では、指の間、爪周囲や指の関節に洗い残しがあることがわかります。

お知らせ

ご紹介の際は、紹介状（診療情報提供書）をご用意頂き、事前のご予約をお願い致します。

医療機関からの診察・検査連携のご予約（地域連携直通）

TEL 047-458-6543 FAX 047-458-6545

受付時間 平日 9:00~17:00・土曜日 9:00~13:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日（12/5）、年末年始（12/30~1/4）はお取扱しておりません。

※時間外の場合はFAXを送信して下さい。翌受付時間内にご連絡させて頂きます。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。



医療連携マネージャー（医師）

緊急を要する当日（日中）のご紹介は、紹介診療科が定まっている場合は従来通り当該診療科の医師が対応します。

担当診療科の特定がしにくい場合は、「医療連携マネージャー」が電話対応をさせて頂きます。

ご対応は地域連携直通電話の受付時間内とさせて頂きます。

患者さんからの診察のご予約（予約センター）

TEL 047-458-6600

受付時間 平日 9:00~16:00・土曜日 9:00~12:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日（12/5）、年末年始（12/30~1/4）はお取扱しておりません。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

やちよ夜間小児急病センター（中学3年生までの小児対象）

TEL 047-458-6090

受付時間 毎日 18:00~23:00

医療相談は行っておりません。ご予約の必要はありません。受付時間内に直接ご来院下さい。

検査連携（医療機関から申込）

検査連携のご依頼は地域連携直通電話の受付時間内とさせて頂きます。

応需検査：CT、MRI（単純）、RI、XP、マンモグラフィー、骨密度測定、セファロの画像検査



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田477-96

TEL 047-450-6000(代表)

TEL 047-458-6545

入退院支援室 TEL 047-458-6543(直通)